

「図書館と地域のレジリエンス」

～公共図書館プロジェクト答申とポストコロナをめぐり～

昨年6月、公益財団法人文字・活字文化推進機構は、活字文化議員連盟 公共図書館プロジェクトがまとめた「公共図書館の将来—『新しい公共』の実現をめざす—」（答申）を公開しました。

答申では、「はじめに—市民生活をサポートする図書館へ」「公共図書館改革への道」「公共図書館の現状と改革の課題」そして「公共図書館の将来—5つの提言」を具体的に述べています。

今回は、活字文化議員連盟（超党派による国会議員が参加）「公共図書館プロジェクト」事務局長の太田剛氏をお招きして、答申作成までの経緯や、ポイント、今後の方向性などについてお話をうかがいます。また、このコロナ禍の中、全国の図書館を巡り図書館の現状に触れられた経験から、図書館におけるポストコロナについてもお話をいただく予定です。

図書館政策企画委員会では、新型コロナウイルス感染症予防対策をしっかりと講じたうえで、セミナーの開催を決定しました。皆様のご参加をお待ちしています。

2020 図書館政策セミナー

テーマ：「図書館と地域のレジリエンス」

～公共図書館プロジェクト答申とポストコロナをめぐり～

講師：太田 剛 氏（活字文化議員連盟/公共図書館プロジェクト事務局長）

日時：12月12日（土）14:00-16:30（13:30 開場）

会場：日本図書館協会 2階 研修室

参加費：500円（資料代）

定員：40名（申込先着順締切）

申込方法：件名を「12.12.図書館セミナー」とし、以下を記載の上、E-mailで申し込みください。

1 氏名、2 所属、3 連絡先（電話、E-mail のいずれか）

申込締切：12月7日（月）17:00（定員になり次第締切）

問合せ・申込先：日本図書館協会・秦 ☎03-3523-0816

E-mail：zasshi@jla.or.jp

主催：日本図書館協会図書館政策企画委員会